

## 大野川流域案内人認定制度

大野川では、川づくり、地域づくりを目的に、流域全体で組織されている

「大野川流域ネットワーク」(市民の緩やかな連携・平成 10 年発足)と、

「大野川流域懇談会」(市民と行政の緩やかな連携・平成 13 年発足)があります。

主として、子供の環境学習、川遊び、防災研究会、リーダー育成を実施してきました。

その活動の中で、大野川流域の風土、文化、歴史、景観、湧水、水質、水生生物、野鳥など、写真も含めて、多くの情報が蓄積されています。

各市町村(合併前)には、観光ガイドができる組織がありますが、流域全体をガイドできる人はほとんどいません。特に、大野川流域は、川に素晴らしい景観、歴史が集中しており、案内は歴史遺産の案内が主となっており、川のすばらしさがまだ理解されていません。

また、市町村区域内の案内ができる人はいるのですが、行政区を越えた案内が出来る人は皆無といっ

ていいでしょう。  
上記活動をしていく上で、最も大切にしてきたことは、「大野川をもっともっと知る」ことが一番大切なことです。その為に、「大野川水の旅マップ」や、「大野川すごろく」や、冊子「大野川から」や「大野川写真展」などを作っています。

これらの情報を使って、流域を案内できる人は私一人しかいないのが現状です。

大野川流域には、日田からは日田往還、宮崎県からは日向往還、大分高速道路から高規格道路(現在は、犬飼～大野町。将来は熊本まで)、熊本からは国道 57 号線を利用しています。

それぞれの方面から来られる人達にとっても、どのような道順で流域を旅していいのか、はっきりした地図情報もありません。

そこで、下記の情報の整理をして、大野川流域案内人制度をつくることを提案します。

分野ごとのマップ(「風土・歴史・文化」「川と湧水」「野鳥」「景観百選」など)

加えて、各種の活動団体、名人、もかなり情報蓄積されていますので、「素敵は人達」マップも構想中です。

もともと、流域をもっともっと知るにより、リーダー育成をすることを大きな目的として掲げているので、学校、観光、地域活動に役立つ「大野川流域案内人」を育成することにより、その目的も達成できますし、単なる私たちの活動の範囲を超えて、流域全体の行政、市民に役立つであろうと確信しています。

主な発表内容(当日、発表用パワーポイントを作成して持参いたします)

○大野川流域のこと

○これまでの活動

○これまで蓄積されている情報

○大野川流域案内人認定制度のこと